

第 3 回

開催日時	平成21年9月17日（木曜日） 午後6時30分～8時35分	
開催場所	沼袋地域センター 洋室3号	
出席者	委員	長谷川嘉昭、笹川 五郎、内山佐和子、阿藤 敏子、鈴木 真司、古間 忍、本間みどり、小林 尚美、竹内 実、石久保敏子、柴田 恵、中澤 保夫、伊野 啓子、内野 秀夫、千葉 千恵、吉村 恒治 (敬称略、順不同)
	事務局	学校再編担当
傍聴者	0人	
会議次第	【議事】 1 丸山小学校体育館等の改築について 2 統合新校開校に向けた施設の改修工事について 3 統合新校の校名について 4 その他	

第 3 回 丸山小学校・沼袋小学校統合委員会 会議要旨

委員長

これより、第3回統合委員会を開会する。
本日は、傍聴者はいないとのことである。

(1) 丸山小学校体育館等の改築について

委員長

それでは、議事に入る。

まずは、「丸山小学校体育館等の改築について」である。前回の統合委員会では、体育館等の改築に関してさまざまな意見が出された。学校と事務局で再検討を行ったようなので、その対応の状況について事務局より報告してもらう。

■丸山小学校体育館等の改築について、事務局より報告

(概要)

前回の統合委員会でさまざまな意見をいただき、学校と教育委員会事務局、技術担当とで統合新校に必要な普通教室を確保しつつ、意見に沿った改築ができるかどうかという観点で再検討を行った。このたび一定の方向を定めたので、報告する。

1 多目的室の設置について

体育館棟に図工室を配置することとしていたが、「屋内運動場利用時の控室や会議室としても利用できるものに」との意見を受け、多目的室を配置することとした。これに伴い、現在の図工室はもとの場所に残ることになるが、現在の多目的室を中央で仕切れるようなかたちに工夫して普通教室としても使える部屋数を確保することとする。

2 更衣室とシャワー室の設置について

体育館棟に図工室を移設しないことになったので、図工準備室を設置する予定であった場所に更衣室とシャワー室を設置することとした。これについては、アレルギー児童への対応や体育館開放の利用時などに役立つと考えている。

3 屋内運動場の冷暖房の設置について

「屋内運動場に冷暖房の設置を」との意見を受け、屋内運動場の面積を狭めないような工法で設置することとした。これについては、機械室を設置しないので、建物全体の空調を管理するというものではないが、夏季や冬季の時期には十分に役立つものと考えている。

4 その他

「屋内運動場の扉が少ない」という意見があったが、舞台の横に1か所増設することとした。また、「2階に学童クラブなどがあるために防音対策が必要ではないか」との意見については、床に防音効果の高い素材を使用して対応したいと考えている。

5 竣工時期について

以上の方向で実施設計を進めていきたいと考えているが、若干工期にも変更が生じ、当初平成23年8月末に竣工予定であったが、9月末になると見込んでいる。

委員長

事務局より報告があったが、前回出された多くの意見が反映されたと思う。意見などがあればお願いしたい。

委員

舞台の横に扉が設置されるとのことだが、どちら側に設置されるのか。

事務局

アリーナから舞台に向かって右側（東側）に設置する。

大きな変更点のみを報告したが、このほかにギャラリーなどの窓の開閉部分を増やして、通風をよくしていけるよう対応する予定である。

委員

最後のお願いであるが、どこかに冷水機があればよいと思うので検討してもらいたい。

委員長

ほかに意見があればお願いしたい。なければ、この議事については終了する。

(2) 統合新校開校に向けた施設の改修工事について

委員長

次に、「統合新校開校に向けた施設の改修工事について」に移る。本件は、本日統合委員会としての意見を取りまとめ、後日教育委員会へ報告することになる。まずは、事務局より説明してもらおう。

■資料「統合新校開校に向けた施設の改修工事についての意見等」に沿い、事務局より説明（概要）

前回の統合委員会では、統合新校の校舎として使用する丸山小学校の改修工事について、校舎

の見学などを交えながら協議していただいた。協議の際に出された意見をまとめて、次のとおり教育委員会へ報告する文書案を作成した。なお、体育館の改修に関する意見については、すでに実施設計に反映させて進めている状況なので除いている。

1 トイレの改修について

(1) 出入口にかなり段差のある個所があり、児童にとっては利用しづらい状況です。利用しやすいトイレにするためにも、安全面の向上をはかるためにも、この段差を解消していただきたいと考えます。

(2) 授業の終了時など児童が一斉にトイレを利用するような場合は、女子用のブースが少くないと思われます。何らかの工夫を施して、できる限りブースを増やしていただきたいと考えます。

(3) 現在は、多くの家庭のトイレが洋式です。足の怪我など何らかの事情でしゃがめない場合もあるので、学校のトイレも洋式を増設していただきたいと考えます。

2 廊下の流しの改修について

廊下の流しが老朽化しており、水の流れが悪くなっている状況です。新しい学校のイメージを醸し出すためにも、衛生面の向上をはかるためにも、廊下の流しを改修していただきたいと考えます。

3 校庭の樹木の撤去について

校庭の中央に3本の木がありますが、この木があるために校庭が広く使えない状況です。学校行事（運動会）などで利用する際にはとても邪魔になるので、この木を撤去していただきたいと考えます。

4 校庭のフェンスの改修について

校庭のフェンスが老朽化しており、支柱が錆びている箇所があります。新しい学校のイメージを醸し出すためにも、安全面の向上をはかるためにも、校庭のフェンスを改修していただきたいと考えます。

5 校舎外通路の照明の増設について

夕方になると、体育館周辺（西門や南側校舎の横の通路など）はとても暗くなります。キッズプラザなどが整備されると児童の帰宅時には暗くなっていることが想定されますので、校舎外通路の照明を増設していただきたいと考えます。

6 改修工事の前倒しについて

統合新校が開校した後（平成23・24年度）にも多くの改修工事が予定されております。新しい学校を開校するにあたっては、なるべく施設整備を進めた状態で開校することが望ましいと思われるので、統合前にできそうな工事はできる限り前倒しで行うことを検討していただきたいと考えます。

委員長

事務局より説明があったが、意見などがあればお願いしたい。

委員

体育館等の改築内容が変更されたことに伴い、図工室と理科室は移設しないことになったが、これらの部屋の設備は老朽化しているとともに非常に使い勝手が悪い。図工室と理科室についてもぜひ改修してもらいたいので、項目として入れてほしい。

委員

5番の「校舎外通路の照明の増設について」だが、西門やキッズプラザのできる場所が冬の5時ぐらいになると真っ暗になってしまう。特に変電所付近は暗くて危険なので、その辺りに設置してもらえればと思う。

委員

焼却炉があるが、現在は使用されていないようなので、撤去したほうがよい。

委員

焼却炉もそうだが、その周辺の緑野中学校グラウンドとの間の樹木が朽ちかけている。使用されていない飼育小屋も残っており、併せて整備してもらえればと思う。

委員

整備してほしいということではないが、現在の正門横の自転車置き場は使い勝手がよいので、現状を変えないでほしい。

委員長

いくつか意見が出されたが、どのようにするか。

事務局

照明設置の意見については、5番の補足意見というかたちで捉えさせていただく。また、樹木や飼育小屋の意見については、第4期工事で校庭整備を予定しているので、その整備の際の参考にさせていただきたいと思う。

「図工室と理科室の改修」と「焼却炉の撤去」については、統合委員会の意見として追加するかどうかを確認していただきたい。

委員長

それでは、ほかに意見がなければ、事務局より説明があった6項目（文書案）に先程委員より出された2項目の意見を追加して、教育委員会へ報告する意見としたいがよろしいか。

—— 異議なし ——

委員長

それでは、そのように進める。

2項目の意見を追加するが、報告する文書の修正と確認はどうするか。

事務局

次回の統合委員会は11月を予定しているが、来年度以降の工事に統合委員会の意見を反映させていくとなると、10月頃には教育委員会へ報告していただきたいと考えている。例えば、追加の意見については、事務局で文書案を作成し、委員長と副委員長に確認していただいたうえで教育委員会へ報告するかたちをとってはどうかと考えている。

委員

委員長と副委員長に一任する。

委員長

それでは、事務局で作成した文書案を私と副委員長で確認したうえで教育委員会へ提出したいと思うがよろしいか。

—— 異議なし ——

委員長

それでは、そのように進める。

(3) 統合新校の校名について

委員長

次に、「統合新校の校名について」に移る。まずは、事務局より説明してもらおう。

■資料「校名募集の結果について」に沿い、事務局より説明
(概要)

前回の統合委員会での協議に基づき、丸山小学校・沼袋小学校の児童や保護者の方、地域の方などを対象に、統合新校にふさわしい校名の募集を行った。募集の結果は次のとおりであった。

1 募集期間

平成21年7月15日（水曜日）～8月31日（月曜日）の48日間

2 応募用紙配布及び応募箱設置場所

沼袋地域センター、野方地域センター、丸山小学校、沼袋小学校の4か所

※丸山小学校、沼袋小学校の児童と保護者の方は、担任の先生への提出も可とした

3 応募総数

63件

4 校名の数

47件

	校名	よみがな		校名	よみがな		校名	よみがな
1	青空	あおぞら	2	青空自由	あおぞらじゆう	3	明歌	あすか
4	歩み	あゆみ	5	新	あらた	6	一期	いちご
7	梅野原	うめのはら	8	桜雲	おううん	9	桜花	おうか
10	音楽	おんがく	11	き望	きぼう	12	共進	きょうしん
13	共生	きょうせい	14	共楽生	きょうらくせい	15	虹路	こうじ
16	さくら	さくら	17	櫻木	さくらき	18	桜野	さくらの
19	志香	しこう	20	笑真	しょうしん	21	史穂	しょーん
22	すすしろ	すすしろ	23	清風	せいふう	24	大沼	だいぬま
25	たいよう	たいよう	26	大輪	たいりん	27	中野籠原	なかのかごはら
28	中のもり	なかのもり	29	中丸	なかまる	30	西江古田	にしえごた
31	ぬまるん	ぬまるん	32	野澤	のざわ	33	野城	のしろ
34	白蓮	はくれん	35	葉衣	はごろも	36	春蒲公英	はるたんぽぽ
37	平和の森	へいわのもり	38	丸沼	まるぬま	39	丸袋	まるぶくろ
40	三つ柏	みつかじわ	41	緑野	みどりの	42	緑原	みどりはら
43	未来	みらい	44	萌木	もえぎ	45	桃桜	ももさくら
46	山袋	やまぶくろ	47	若葉	わかば			

※校名とよみがなは、応募用紙に記入してあったそのままを記載

委員長

事務局より説明があったが、意見などがあればお願いしたい。

委員

応募数が少ないように思うが、緑野中学校の校名募集をしたときはどれぐらいの応募があったのか。

委員

150件くらいであったと思う。

事務局

今回、同時に野方小学校・沼袋小学校統合委員会でも校名募集を行っており、そちらは77件の応募があった。これを合わせると応募数は140件となり、3校の組み合わせの統合ということを考えれば、今までの統合の応募件数と比べてもあまり変わらない状態である。

委員

野方小学校・沼袋小学校統合委員会のほうで応募があった校名とこちらで応募があった校名で、

同じものはあるのか。

委員長

同じ校名はあると思う。ただ、それぞれの統合委員会で決めていくことなので、あちらの統合委員会に今の時点で「これは選んではだめだ」とは言えない。

委員

丸山小学校の教育目標は「自立と共生」だが、沼袋小学校の教育目標は何か。

委員

「チャレンジ（挑戦する子）、トレーニング（鍛える子）、コミュニケーション（かかわる子）」である。

委員

そうすると、教育目標からとったと思われる校名があるが、丸山小学校か沼袋小学校のどちらかの学校だけに偏ることになる。

委員

いずれかの学校の教育目標だったり頭文字を取ったりした校名があるが、統合して新しい学校をつくるという趣旨なので、どちらかの学校に偏った校名は除いたほうがよいのではないか。

あと、野方小学校・沼袋小学校統合委員会で応募があった校名と同じ校名は3つ程度だと思うので、あまり心配しなくてもよいと思う。

委員長

現在の校名の文字などは使わないほうがよいという意見が出されたが、それらを除いて選んだだけではすぐに決まってしまうそうなので、もう少し意見を出してもらいたい。校名は歴史的にずっと残るものなので、実のあるものにしていききたいと思う。我々統合委員会としてどのように考えるのか、意見などがあればお願いしたい。

委員

校名というのは、今いる子どもたちだけのものだけではなく、50年後に通う子どもたちのものでもある。そうしたときに、地名、あるいはその地に由来する校名は非常に価値のあるものだと思う。小学校こそが子どもの“ふるさと”をシンボリックに表すものだと考えており、「あなたの“ふるさと”はどこ」と言ったときに必ずといっていいほど小学校があったところをイメージすると思う。そういったことから、地域にかかわるものが校名の1つの有力な候補であると考えている。

もう1つは、日本の将来を担う子どもたちに「こんな願い」「こんな思い」を持っているのだという、教育への思いを込めるのもよいと思う。「この学校にこんな特色を持たせたい」「ここからこんな子どもたちを育てたい」という思いがこの地域にはあるということを経験にしていければよいのではないか。

委員

私は、今いる子どもたちやこれから入ってくる子どもたちだけではなく、地域の方たちにも親しまれる学校であるべきだと思っている。地域の方たちが言いやすく、親しみのある校名がよい。地域にふさわしい名前の学校であれば、ふるさとの的なものになると思う。今回応募のあった校名の中から、子どもや地域の思いを受けとめつつ、少しずつ絞っていけばよいのではないか。

委員

校名を聞いたときにどこの地域の学校か分からないというのは悲しい思いがあるが、両方の地名（校名）は入れないというふうに考えると、それもなかなか難しい。基本的には子どもたちが考えた校名の中から選んであげたい。子どもたちなりにいろいろと考えて応募した校名に、大人のプラスアルファの思いを込めて選ぶという方法がよいのではないかと思う。

委員

応募のあったものの中から統合新校の校名にはふさわしくないとされるものをまずは削り、いくつか絞ったうえで、そこから選んでいくやり方がよいと思う。

委員

応募のあった校名を、例えば「自然に関わるもの」「子どもたちへの思い」などといったカテゴリーで分類し、その中で議論して一番ふさわしいものを選ぶという方法がよいのではないかと考えている。

また、丸山にあるから丸山小学校になったのではなく、丸山小学校があるから丸山という地名になったということを知ったことがある。このことから先々のことを考えると、新しい小学校ができることで、また新たに愛着を育てていくということもあるのではないかと感じている。

委員

どういった校名にするかは、まず「教育理念」や「地域」などといったテーマを決め、それに最もふさわしい名前を選んでいくのがよいと思う。

また、今回の応募のあったものが絶対ではなく、子どもたちが考えたものを残しつつも、ある程度つくることも考えるべきだと思う。ふさわしくないとされるものを除いていったときに、果たしてどれだけ残るのかと心配になる。除いた結果、読みにくいものやよくわからないものが残っていたということにもなりかねないので、つくることも前提に考えてもよいと思う。

委員

私は、応募のあったものの中から決めるのが基本だと思うので、いずれかの学校に偏った校名などを除いて絞っていき、その中から新しい学校の理念に合うものなどを考えて決めればよいと思う。

委員

野方小学校と沼袋小学校の統合新校の校名と勘違いして応募されているようなものもあるので、やはりこちらの校名に適さないものは除いて絞り込んだほうがよい。地名にするのか子どもたちへの思いにするのかといったようなことは、話し合ってもなかなかかみ合っていない気がする。そのあたりはもう少し考えながら進めていければと思う。

委員

子どもがせっかく考えてくれたものを、大人の目線でふさわしくないとって除くのは気の毒だと思う。新校の校名にふさわしいと思うものを各委員がいくつか選んでいき、それでもこれだというものがなければつくってもよいと思う。

委員

公立学校の場合は、やはり地域に愛される学校というところがある意味で大きい1つの柱だと思う。緑野中学校の校名を決めるときも最初は違和感があったが、今では「緑野、緑野」と生徒たちに馴染んでいる。「〇〇小学校に行く」と言うと、「ああ、中野のあそこか」と感じられるようにしていくのはこれからだと思う。校名を決めるにあたってのポイントは、地域に根ざしている、地域の雰囲気をももたしているようなものを選ぶことかと思う。

委員

「丸山」と「沼袋」というふるさとの校名をこれから違う校名にするわけだが、やはり数年たったときに子どもたちがふるさと思えるような校名、地域からも愛着が持てるような校名がよいと思う。

委員

各委員の意見を聞いたところでは、ふさわしくないと校名を除いて絞り込み、その中から必ず選ぶということを決めてしまうのではなく、よい候補がなければつくったりアレンジしたり

することも可能にすればよいのではないかと思う。まずはふさわしくないものを除くことが第一段階で、その結果を見ながらまた検討してはどうか。

委員長

各委員から出された意見をまとめるのは、非常に大変そうである。応募のあったものの中から決めるのか、私たちが考えて再度審議するのか。応募のあったものの中から選んで「やはりよくない」というより、自分たちも1つでも2つでも考えて改めて検討するほうが問題が少ないような気がする。

委員

応募があったものの中で明らかに不適切なものを除くと、いくつか残る。それを見たところでこれではだめだということになれば新しいものを考えるとして、まずは除くものについて意見を出してはどうか。

委員長

子どもたちが一生懸命考えた校名なので、不適切だからといって除くことはしたくない。校名を挙げるのであれば、よいと思うものを1人3つでも、5つでも選んでいきたい。そのほうが早いと思う。また、募集のあったものの中から選ぶのが一番よいのだが、我々はせっかく統合委員会の委員なので、私たちが新たな校名を考えてもよいのではないかと思う。

委員

両校の児童や地域にお住まいの方などから校名を募集するという事は、この統合委員会の話し合いの中で決めたことである。まずは募集があったものの中から選び、場合によっては選んだものをアレンジするという考え方はどうか。

委員

候補がもう少しあればよいと思う。

委員

例えば、募集のあったものの中から新校の校名に望ましいと思うものを上限5つ以内で出していただき、5つ出せない方は1つでも2つでもよいという方法ではどうか。

委員

私も同意見である。児童や地域の方などの意見を最大限尊重しようということで、校名募集を行った。結果は想定より応募数が少なかったかもしれないが、まずは応募のあったものの中から選ぶことが統合委員会としての真摯な態度ではないか。最終的にアレンジすることについては、やはり我々も新校にふさわしい校名を決めるという責任があるので仕方がないと思う。

委員

今回の校名募集にあたっては、委員によって捉え方が違うと思う。募集したものは有力な候補ではあるが、募集したものの中から必ず選ぶということではなく、統合委員会の中でまた改めて考えてもよいということで進められたと認識している。募集したものに縛られる必要はないのではないか。

委員

今の意見もわかるが、子どもたちが家族と一緒に一生懸命考えた意見なので、まずは募集の中から有力候補を選ぶということである。ただ、それがすべてということではなく、アレンジなど手を加えるということもあり得るという前提になる。やはり募集を行ったわけで、応募のあったものの中から絞り込むという作業は必要だと思う。

委員

そうであれば、最終的に校名は1つに絞ることになるのだから、各委員がよいと思うものを1つずつ出せば十分だと思う。

委員

選びたいものが2つあり、1つでは厳しいのでせめて2つまでにしてもらいたい。各委員が2つずつ選んで事務局に送り、集計をしてもらった結果をもとに再度協議すれば早く話が進んでいくと思う。

委員

2つまで選びたいという方もいるので、もう少し枠を広げて、自分の思いが残るくらいの幅は設けられればと思う。書いてくれた子どもの思いや各委員の意見を寄せて、少しずつすり合わせをしていくことはとても大事なことだと思う。少し各委員が心の中で温める時間をとってもらいたい。

委員

1つに絞るというとても苦しくなるが、いくつか挙げるということであれば落ち着いて選ぶことができる。これから校名を選んでいくときに当然苦しさを伴うことになるが、今は決断するときでなくピックアップするときである。ピックアップしていくことで自分たちの頭の中も熟成されていき、責任を持って考えられると思う。

委員長

1人いくつまでにするのかという意見の妥協はどうか。

委員

1人3つ以内として、1つしか選びたくないという方は1つだけ選べばよいのではないかと。1つだけ選ぶことにすると、3つ選びたい方は残りの2つが選べなくなってしまう。

委員

よいと思うものを選んでいけば、多分ふさわしくないと思われるものは落ちていく。絞り込むだけでもやる意味はあると思う。

委員

校名は、各委員からの投票で決まるわけではないし、投票数で決まるわけでもないということが前提となる。

委員長

ここまで出された意見を、事務局より確認してもらおう。

事務局

各委員から出された意見では、①応募のあったものの中から統合新校の校名としてふさわしいと思われるものを、各委員に3つ以内で選んで提出していただく。②各委員から提出されたものを集計して、それをもとに次回の統合委員会では協議をしていただく。③集計の際には、投票数で決めるわけではないので数は出さない。以上のような意見が大半であったと思う。

委員長

事務局より確認があったが、そのように進めてよろしいか。

—— 異議なし ——

委員長

それでは、そのように進める。今回は意見が分かれた部分もあったが、最終的に校名を決める段階では全員の賛同を得て決めたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

委員

募集のあったものの中から選んでいくということだが、各委員が選ぶ際にどういう理由でこの校名がよいと思ったのかなどを書かなくてよいか。

委員長

子どもたちの意見を尊重して、理由などは書かないほうがよいと思う。

委員

子どもたちの意見は大事にしたいと思うが、私たちが選ぶときにどういう思いで選んだということを書きたいので、理由がない人は書かない、ある人は書いて出すことにしてはどうか。

委員

子どもたちの意見をくつがえすことにならないか。

委員

子どもたちの意見を補足するということである。

委員長

子どもたちの書いたものを変えるのではなく、補足という意味であればよいと思う。

委員

募集をした時の理由と若干違う理由というものもおもしろい。

委員長

それでは、各委員が校名を選ぶ際に、選んだ理由なども書いてもらうことでよろしいか。

—— 異議なし ——

委員長

それでは、そのように進める。

あと、今回の校名募集の結果と本日の協議内容については、統合委員会ニュースや教育委員会ホームページなどで公開してもよろしいか。

委員

まだ早いのではないか。

委員

ただ、応募した方からすれば情報は知りたいと思う。

委員

「このような校名が集まった」ということは出しても構わないのではないか。

委員長

例えば、「募集した結果をもとに検討して決めていきます」というようなかたちであればよいと思う。そのようなかたちであれば、資料などを公開することでよろしいか。

—— 異議なし ——

委員長

それでは、そのように進める。

(4) その他

委員長

最後に、次回の日程調整を行いたいと思う。

—— 日程調整 ——

委員長

それでは、次回の統合委員会は、11月24日（火曜日）午後6時30分より沼袋地域センターで開催することとする。

本日の統合委員会は、これをもって終了する。